

株式会社 平井ダイカスト

事業計画名

新型ダイカストマシン導入による薄肉・軽量化自動車部品の試作開発



顧客ニーズを満たすための技術向上計画 新技術による新分野の開拓

-事業の背景-

顧客業界の需要変化による要請

近年、顧客業界である自動車業界においては、環境・安全問題などへの対応から、車体の軽量化に加えて、より高い安全性が求められており、自動車部品製造における仕様は急速に高度化が進んでいる。

当社においても「強度を維持した薄肉化」「軽量素材製品の供給量増」「複雑な一体成型部品への対応」など、従来の設備では対応が難しい要請を受けており、早急な技術力の向上・設備拡充が必要であった。

高度化する要請に応えるべく、本事業で新型のダイカストマシンを導入し、今までにない薄肉・軽量の自動車部品の試作開発を行う。



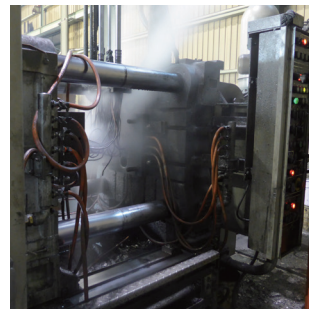
-事業の成果-

自社ノウハウによる金型調整

本事業で目標とする薄肉・軽量の自動車部品の試作について、当社での生産実績があり、顧客からの具体的な引き合いがある「ウォーターポンプ」の部品での開発を行った。

新型ダイカストマシンによる試作において、自社ノウハウを駆使し、「金型構造の開発・改善」と「ダイカストマシンの製造条件設定のブラッシュアップ」を実施。

既存の同種製品と比較すると約25%の薄肉化と約40%の軽量化に成功し、加えて売価材料比率の低減も認められ、試作開発品の高付加価値化による生産コスト削減も実現することが出来た。



-株式会社平井ダイカストの概要- 海外製鋳物に対抗しうる技術力

当社は1966年創業で、アルミ及び亜鉛のダイカスト法による鋳物製造を行っている。創業当初はファスナーなどの製造を行っていたが、顧客ニーズに誠実に対応し信用を獲得したことで、徐々に顧客から新規取引先を紹介されるようになり、企業規模が拡大。現在では主に自動車業界・住宅設備業界への製品供給を行っている。

鋳造業界の現状として、他製造業と同様に海外生産の影響は大きく、安価な海外製鋳物がベンチマークとして比較され、海外進出の要請も強まっており、当社を含めた国内業者においては非常に苦しい状況となっている。

また、特に当社を含めたダイカスト法を用いる業者は、他製法を用いる業者より不良率・歩留まり・設備稼働率が悪い傾向があり、これはダイカスト法の製法が故の短所でもある。当社は鋳物業界の慢性的課題である不良率・歩留まり及び設備稼働率の改善にも積極的に取り組んでおり、その成果が確実に出ていることで、顧客から厚い信頼を寄せられている。

特に長年のダイカスト法による生産経験を活かした「金型設計に関する提案力」「複雑形状への対応力」「長年のダイカストマシン生産技術」や、自社では困難な後加工となるバレル・ショット・タップ・メッキ等の「加工業者との協力体制」を構築している点は非常に高評価を受けており、顧客の満足度も高い。



-今後の展望-

薄肉・軽量を武器に新分野へ

本事業において薄肉・軽量の製品製造が可能となったことで、アルミ材のダイカスト法による加工がマッチする量産型産業の自動車業界においては、各種部品群において当社製品を提案する余地が生まれると考えられる。

その為、「ウォーターポンプ」だけでなく、「オイルポンプ」等の他の部品開発にも着手し、製造品目の拡大を目指す。

合わせて、自動車・自家用車に限らず、建設・建築重機など新分野の顧客開拓も見据え、先行的な改善活動を通じて積極的なVA/VE提案を行い、事業展開を行う。



保有設備	●ダイカストマシン 東洋機械金属(株) 250t / 125t 篠塚製作所(株) 50t / 25t	得意とする加工内容	●精密な製品鋳造・鍍金・塗装 ●ダイカスト金型・プレス金型の設計・製作
		対応可能素材／サイズ	アルミ合金・亜鉛合金／小型製品から中型製品

株式会社 平井ダイカスト

業種分類 非鉄金属製造業
事業内容 アルミ・亜鉛・各種ダイカスト製品製造

代表者名 代表取締役 平井 正人
所在地 奈良県御所市檜原95
連絡先 TEL：0745-63-2451 / FAX：0745-63-2453
ホームページ 無し
E-MAIL hiraidaikasuto@jewel.ocn.ne.jp